

美味おしいお話

平成 31 年 4 月

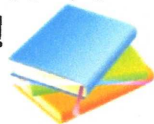


本の中に出てくる食べ物や食材が、4/16 (火) の給食に登場します。

4/16 の献立

マーボー豆腐、
たまごスープ、
さつまいもチップ、牛乳

紹介した本は
学校図書館で展示中。
借りられます！



マーボー豆腐



『給食アンサンブル』

如月 かずさ/著 光村図書

入学、進級おめでとうございます。

今年度最初の「美味しいお話」は、タイトルのとおり給食を中心とした小説です。目次を見ると、6つの給食のメニューがそのまま章のタイトルになっています。

「マーボー豆腐」は第2章のタイトル。童話が好きな桃ももは、中学生になっても読んでいる自分が子どもっぽいのではとひそかに悩んでいます。家族で食べた本格的な激辛マーボー豆腐が苦手で、給食で出る甘口のマーボー豆腐のほうがずっとおいしいと思うのに、クラスメイトたちからは「辛いマーボー豆腐のほうがおいしい、おとなになればわかる」と言われてしまい、さらに自信を無くします。

各章で主人公、語り手になるのは、6人の中学1年生のクラスメイトたち。それぞれがそれぞれの想いや悩みを抱えています。

転校先の学校になじむのを拒む美貴みき、子どもっぽいのがコンプレックスの桃もも、親友の姉に恋をする満みつる、悩める人気者の雅人まさと、孤独な優等生の清野きよの、姉御肌で給食が大好きな梢こずえ。1つ1つの章は独立していますが、季節とともに進んでいき、クラスメイトとしてそれぞれがかかわってお互いの気持ちに気づき、支え合っていくので、続けて読むのがおすすめです。

給食をきっかけに、みんなが少し優しくなったり強くなったりして成長していく素敵なお話です。

学校給食に愛をこめて 「めざせ！給食甲子園」 こうやま のりお/著 講談社

今回はもう1冊、学校給食に関する本をご紹介します。給食甲子園、正式名称は「全国学校給食甲子園」といいます。エントリーした学校や給食センターが、都道府県別の第一次予選からスタートして、二次、三次予選を経て、決勝では給食の献立こんだてを制限時間1時間の中で調理し、審査員の試食により優勝校が決まります。ただおいしい料理を作ればいいのではなく、実際に学校で出した献立であること、給食を調理する時と同様の衛生管理えいせいかんり、盛り付けだけでなく後片付けまで時間内に終えることなど、「学校給食」ならではの条件つきです。

この本では第7回決勝の様子を中心に、給食をつくる過程かていや工夫がいろいろと紹介されています。おいしく栄養があり安全な給食を出すために、栄養士の先生や調理員さんがどれだけ頑張ってくださっているかがよくわかるおすすめの本です。給食甲子園はその後も毎年開催され、昨年も第13回が開催されています。